

春 semester も終盤となり、戸
惑いや不安に満ちていた新入生た
ちも大学生活にすっかり慣れたよ
うに思えます。一方、第一希望の
大学への未練を断ち切れなかつた
り、理想の大学生活と現実とが違
っていたりで、心の底から本学の
学生になりきることができないで
いる方もいます。

一年生の課題は大学
に適應することです。

そのためには過去の生
活に「さようなら」を
して、この大学での生
活に「こんにちは」を
する必要が 있습니다。

しかし、進学に際して
強い不本意な気持ちを
持っている学生は「さ
ようなら」に時間がか
かるでしょうし、人中
で緊張しやすい学生には「こんに
ちは」が難題となるでしょう。

学生の挫折の四割は一年次に生
じると言われています。一つの山
はゴールデンウイーク明けです。
四月は多忙なスケジュールをこな
すのに精いっぱい、考える暇な
く日々が過ぎていきます。連休に
入って余裕ができると、ふと現状

学 生 相 談 室

だ よ り 69

カウンセラー 阿部千香子

を振り返ります。自ら学ぶスタイ
ルについていけず、授業中は焦り
でいっぱい。お昼を食べる相手が
おらず、無理して入ったグループ
では浮いている気がする。多くの
学生は「休み明けから頑張ってみ
よう」と思い直すものですが、中
には「あの大学に入れていたら」
「自分には大学は無理だ」と思い、

休み明けから登校しな
くなる学生もいます。

二、三年生や四年生
にも課題があります。

二、三年生は自主的な
活動を行い対人関係を
深めていくこと、四年
生は進路選択を通じて
自分の生き方を見つけ
ることです。課題に取
り組む途中での挫折経
験は成長につながりま
すが、中にはそこで動きを止めて
しまう学生もいます。

本学ではガイダンスを行い、学
生がそれぞれの課題を達成するた
めの助けとなる機関を紹介してい
ます。学生相談室もその一つで、
六名のカウンセラーが常駐し、学
生の学業、心理、生活面の相談に
のっています。